(財)財務会計基準機構会員

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場会社名　株式会社 熊谷組　　上場取引所　東
コード番号　1861　URL　http://www.kumagaigumi.co.jp/
代表者　（役職名）取締役社長　（氏名）大田　弘
問合せ先責任者（役職名）管理本部主計部長　（氏名）山本　祐一　TEL 03-3235-8606
四半期報告書提出予定日　平成21年11月12日
配当支払開始予定日　—

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	完成工事高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	118,993	2.0	1,311	109.8	783	—	1,133	—
21年3月期第2四半期	116,675	—	624	—	△30	—	△462	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6.35	4.10
21年3月期第2四半期	△2.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	188,778	42,928	22.1	123.38
21年3月期	203,740	41,523	19.7	115.58

（参考）自己資本　22年3月期第2四半期　41,639百万円　21年3月期　40,238百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—			
22年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	完成工事高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	269,000	△5.3	4,000	△5.7	2,300	△1.0	1,500	—	8.40

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注） 詳細は、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. その他」をご覧下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注） 詳細は、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. その他」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第2四半期	181,544,607株	21年3月期	180,544,607株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,911,079株	21年3月期	2,847,188株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第2四半期	178,564,172株	21年3月期第2四半期	164,701,467株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ「【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、輸出や生産は回復を続け、個人消費も経済対策の効果などから持ち直しの傾向にありますが、企業収益は引き続き減少し、雇用・所得環境が大幅に悪化するなど、景気は停滞色を強めながら推移しました。

建設業界におきましては、補正予算の執行により公共投資は増加基調となったものの、住宅投資の落込みは著しく、事務所ビルや工場などの民間設備投資も依然として抑制されているため、受注環境は総じて厳しいものとなりました。

このような状況にあって当社グループは、「中期経営計画(平成20～22年度)」に掲げる「ソリューション提供力の強化」、「ものづくり力の強化」、「コスト競争力の強化」、「アフターサービス力の強化」に向けた諸施策を強力に推進し、厳しい市場環境にも耐えうる堅固な経営基盤の構築に取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高（完成工事高）は、会計基準変更の影響もあり、前年同四半期比2.0％増の1,189億円となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費の一層の削減により、同109.8％増の13億円、経常利益は、営業利益の増加の他、為替差損の縮小等により、7億円（前年同四半期は経常損失3千万円）となりました。四半期純利益は、賞与引当金の戻入益など前期損益修正益13億円を計上したこと等により、11億円（前年同四半期は四半期純損失4億円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績（セグメント間取引相殺消去前）は次のとおりであります。

（建設事業）

完成工事高は1,186億円（前年同四半期比2.0％増）、営業利益は12億円（同123.3％増）となりました。なお、建設事業における完成工事高は、第4四半期に著しく多く、第3四半期迄の各四半期は相対的に少なくなるといった季節的変動があります。

当社個別の受注の状況につきましては、14ページ「6. その他の情報　四半期個別受注の概況」をご参照下さい。

（その他の事業）

主にサービス事業を中心とするその他の事業は、売上高は5億円（前年同四半期比7.3％減）、営業利益は8千万円（同23.9％増）となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、現金預金、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末に比べ149億円（7.3％）減少し、1,887億円となりました。

負債合計は、借入金の増加はあったものの、支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ163億円（10.1％）減少し、1,458億円となりました。なお、これら資産・負債の減少は、建設事業において工事の完成引渡しが年度末に集中する傾向にあることを要因としております。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前期末に比べ14億円（3.4％）増加し、429億円となりました。なお、自己資本比率は、前期末の19.7％から2.4ポイント向上し、22.1％となっております。

連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収は進んだものの、仕入債務の支払い等により、139億円のマイナス（前年同四半期は14億円のマイナス）となりました。投資活動によるキャッシュ･フローは、貸付金の回収等により、3千万円のプラス（前年同四半期は1億円のマイナス）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、約定による借入金の返済はあったものの､短期借入金の純増により59億円のプラス（前年同四半期は41億円のマイナス）となりました。これらに換算差額による増減を含め、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は前期末に比べ78億円（22.2％）減少し、275億円となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、景気の底打ちが期待されるものの、企業の設備投資や不動産市況の回復には未だ時間を要するものと思われます。これに対し当社グループは、さらなる経営の効率化を強力に推進し、収益力の向上と市場競争力の強化を図っているところであります。

このような状況及び当第2四半期の実績等を勘案し、現時点において平成21年5月15日に公表した通期の連結業績予想を変更しておりません。

なお、個別業績予想についても変更しておりません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断において、業績の著しい好転又は悪化、その他経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測を利用しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更

第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用しております。これにより、完成工事高は11,677百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ943百万円増加しております。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	27,536	35,372
受取手形・完成工事未収入金等	91,628	98,548
未成工事支出金	12,590	10,682
繰延税金資産	1,812	2,138
その他	10,789	11,331
貸倒引当金	△1,875	△1,892
流動資産合計	142,481	156,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,788	2,888
土地	10,267	10,267
その他（純額）	1,209	1,168
有形固定資産計	14,264	14,324
無形固定資産	610	730
投資その他の資産		
投資有価証券	12,733	12,854
繰延税金資産	9,542	9,678
その他	15,121	18,516
貸倒引当金	△5,975	△8,546
投資その他の資産計	31,421	32,503
固定資産合計	46,296	47,557
資産合計	188,778	203,740

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	63,896	82,611
短期借入金	31,524	25,115
未成工事受入金	12,081	13,194
完成工事補償引当金	486	461
工事損失引当金	537	955
賞与引当金	587	1,716
債務保証損失引当金	―	99
その他	14,642	15,616
流動負債合計	123,756	139,771
固定負債		
長期借入金	4,610	5,030
退職給付引当金	17,393	17,354
その他	90	60
固定負債合計	22,093	22,445
負債合計	145,849	162,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,341	13,341
資本剰余金	7,883	7,884
利益剰余金	20,328	19,194
自己株式	△517	△512
株主資本合計	41,036	39,907
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	837	643
為替換算調整勘定	△234	△312
評価・換算差額等合計	603	330
少数株主持分	1,288	1,284
純資産合計	42,928	41,523
負債純資産合計	188,778	203,740

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
完成工事高	116,675	118,993
完成工事原価	108,944	111,333
完成工事総利益	7,730	7,660
販売費及び一般管理費	7,105	6,349
営業利益	624	1,311
営業外収益		
受取利息	116	82
受取配当金	57	114
その他	59	60
営業外収益合計	232	256
営業外費用		
支払利息	491	431
為替差損	231	52
その他	165	300
営業外費用合計	888	784
経常利益又は経常損失（△）	△30	783
特別利益		
前期損益修正益	617	1,388
その他	56	150
特別利益合計	674	1,538
特別損失		
前期損益修正損	521	268
貸倒引当金繰入額	467	221
その他	52	185
特別損失合計	1,040	676
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△396	1,646
法人税、住民税及び事業税	311	155
法人税等調整額	△172	351
法人税等合計	139	507
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△73	4
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△462	1,133

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△396	1,646
減価償却費	542	539
貸倒引当金の増減額（△は減少）	142	△2,608
退職給付引当金の増減額（△は減少）	641	38
受取利息及び受取配当金	△173	△195
支払利息	491	431
為替差損益（△は益）	37	100
持分法による投資損益（△は益）	82	153
売上債権の増減額（△は増加）	23,371	6,975
未成工事支出金の増減額（△は増加）	△14,758	△1,907
仕入債務の増減額（△は減少）	△21,056	△18,846
未成工事受入金の増減額（△は減少）	8,803	△1,113
その他	1,591	1,306
小計	△680	△13,480
利息及び配当金の受取額	171	205
利息の支払額	△479	△437
法人税等の支払額	△424	△194
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,412	△13,906
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△485	△287
有形固定資産の売却による収入	18	19
投資有価証券の取得による支出	△10	△8
投資有価証券の売却による収入	84	75
貸付けによる支出	△329	△271
貸付金の回収による収入	307	247
その他	296	260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119	36
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△468	7,531
長期借入れによる収入	－	463
長期借入金の返済による支出	△2,966	△2,005
配当金の支払額	△726	－
その他	△6	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,168	5,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	45
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,744	△7,843
現金及び現金同等物の期首残高	32,889	35,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,144	27,528

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

Ⅰ. 個別業績の概要

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第2四半期の個別業績（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	完成工事高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	97,539	2.3	852	19.3	521	211.7	1,166	―
21年3月期第2四半期	95,358	0.4	714	468.6	167	―	△ 161	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6.49	4.20
21年3月期第2四半期	△ 0.98	―

(2) 個別財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	154,005	24,273	15.8	26.01
21年3月期	163,487	22,949	14.0	18.18

（参考）自己資本　22年3月期第2四半期　24,273 百万円　21年3月期　22,949 百万円

2. 平成22年3月期の個別業績予想（平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	完成工事高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	213,000	△ 6.1	3,000	20.8	1,500	△ 5.8	1,000	―	5.56

（注）個別業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

Ⅱ．四半期個別財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	当第２四半期会計期間末 （平成21年９月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	15,005	23,449
受取手形・完成工事未収入金等	82,174	82,246
未成工事支出金	8,988	7,726
繰延税金資産	1,614	1,796
その他	10,000	11,089
貸倒引当金	△ 1,822	△ 1,793
流動資産合計	115,962	124,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,605	1,678
土地	7,578	7,578
その他（純額）	280	300
有形固定資産計	9,464	9,557
無形固定資産	285	336
投資その他の資産		
投資有価証券	8,108	7,871
繰延税金資産	7,064	7,193
その他	17,377	20,982
貸倒引当金	△ 4,257	△ 6,968
投資その他の資産計	28,292	29,079
固定資産合計	38,043	38,972
資産合計	154,005	163,487

（単位：百万円）

	当第２四半期会計期間末 （平成21年９月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	54,512	68,076
短期借入金	31,274	24,771
未成工事受入金	9,620	10,764
完成工事補償引当金	449	423
工事損失引当金	537	926
賞与引当金	－	1,087
債務保証損失引当金	－	99
その他	13,543	14,234
流動負債合計	109,938	120,384
固定負債		
長期借入金	4,610	5,030
退職給付引当金	15,126	15,071
その他	57	52
固定負債合計	19,793	20,153
負債合計	129,731	140,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,341	13,341
資本剰余金	7,883	7,884
利益剰余金	2,695	1,528
自己株式	△ 406	△ 404
株主資本合計	23,513	22,350
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	760	599
評価・換算差額等合計	760	599
純資産合計	24,273	22,949
負債純資産合計	154,005	163,487

（注）この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示における四半期レビュー対象ではありません。

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
完成工事高	95,358	97,539
完成工事原価	89,335	91,932
完成工事総利益	6,023	5,607
販売費及び一般管理費	5,308	4,755
営業利益	714	852
営業外収益		
受取利息	96	87
受取配当金	68	150
その他	62	62
営業外収益合計	226	301
営業外費用		
支払利息	493	432
為替差損	212	61
その他	66	137
営業外費用合計	773	631
経常利益	167	521
特別利益		
前期損益修正益	438	1,385
その他	14	134
特別利益合計	453	1,519
特別損失		
前期損益修正損	453	261
貸倒引当金繰入額	465	218
その他	47	176
特別損失合計	966	656
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失（△）	△ 345	1,384
法人税、住民税及び事業税	83	18
法人税等調整額	△ 267	199
法人税等合計	△ 183	218
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△ 161	1,166

（注）この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示における四半期レビュー対象ではありません。

６． その他の情報

四半期個別受注の概況

（１）個別受注実績

	受　注　高	
	百万円	%
22年３月期第２四半期累計期間	84,132	△ 11.7
21年３月期第２四半期累計期間	95,298	△ 24.2

（注）パーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

（参考）受注実績内訳

（単位：百万円）

			前第２四半期累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年９月30日）		当第２四半期累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日）		比　較　増　減	
			金　額	構成比(%)	金　額	構成比(%)	金　額	増減率(%)
建設事業	土木	国内官公庁	9,239	9.7	14,360	17.1	5,120	55.4
		国内民間	14,486	15.2	18,862	22.4	4,375	30.2
		海外	17	0.0	437	0.5	420	－
		計	23,744	24.9	33,660	40.0	9,916	41.8
	建築	国内官公庁	2,373	2.5	3,668	4.4	1,295	54.6
		国内民間	69,144	72.6	46,803	55.6	△ 22,341	△ 32.3
		海外	36	0.0	－	－	△ 36	△ 100.0
		計	71,554	75.1	50,471	60.0	△ 21,082	△ 29.5
	合計	国内官公庁	11,612	12.2	18,028	21.5	6,416	55.3
		国内民間	83,631	87.8	65,665	78.0	△ 17,965	△ 21.5
		海外	54	0.0	437	0.5	383	708.5
		計	95,298	100	84,132	100	△ 11,165	△ 11.7

（２）個別受注予想

	通　期	
	百万円	%
22年３月期予想	220,000	1.6
21年３月期実績	216,613	△ 15.1

（注）パーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

[個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等]

当第2四半期累計期間の個別受注実績は、土木は、官公庁工事では治山･治水、民間工事では電力･エネルギー関連施設などの増加により前年同四半期を上回る結果となりました。しかしながら、建築は、住宅を中心に民間工事が大幅に減少したため、土木・建築合計では、前年同四半期に比べ111億円（11.7%）減少し、841億円となりました。

なお、通期の個別受注予想につきましては、平成21年5月15日の決算発表時の受注予想から変更はありません。